

予 算 要 求 資 料

令和4年度当初予算 支出科目 款：教育費 項：保健体育費 目：学校健康教育費

事業名 学校保健総合支援事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

教育委員会 体育健康課 学校保健係 電話番号：058-272-1111 (内 3592)

E-mail：c17769@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 743 千円 (前年度予算額：800 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	800	0	0	0	0	0	800	0	0
要求額	743	0	0	0	0	0	743	0	0
決定額	743	0	0	0	0	0	743	0	0

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

- ・2人に1人が罹患するという「がん」について、教育の必要性が問われており、これまで、中学校、高等学校の保健体育科の授業を中心としたがん教育の実践研究を進めてきた。今後はさらに健康教育の一環として位置付くようがん教育の充実が求められている。
- ・外部講師を活用した授業については、モデル授業の取組や指導者研修会において周知を図ってきたものの、学校数に対して外部講師の数は不足している。今後は、関係課と連携して外部講師の育成を図る必要がある。

(2) 事業内容

- ・専門医やがん経験者、学校関係者からなるがん教育推進協議会を開催し、岐阜県のがん教育の推進を図る。
- ・外部講師となる医師やがん経験者、学校の教職員を対象とした指導者研修会を実施する。

(3) 県負担・補助率の考え方

- ・委託事業

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	353	講師謝礼
旅費	355	講師等旅費
需用費	19	消耗品購入代
役務費	3	講師等郵送料
使用料	13	会場借り上げ代
合計	743	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・第3次岐阜県教育ビジョン

基本方針3 未来を切り拓くための基礎となる力を育む教育の推進
目標17 健康教育・食育の推進

(2) 国・他県の状況

平成30年度までは、性に関する指導普及推進、薬物乱用防止教育支援、がん教育総合支援事業を国の委託事業として実施してきた。

文部科学省の委託内容変更により、令和3年度からは、がん教育総合支援事業のみ実施しており、全国で多くの県が、本事業を活用してがん教育を推進している。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

<input type="checkbox"/>	新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/>	継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
 学校のニーズに応じて、外部講師を活用したがん教育が推進できるように、外部講師の派遣体制を構築する。そのために、外部講師となる医師やがん経験者をはじめ、教職員を対象にした研修会を継続的に実施していく。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (H30)	R2年度 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標 (R5)	達成率
① がん教育に関する講習会、指導者研修会の開催回数	0回	3回	4回	5回	5回	60%
② 協議会の開催回数	0回	2回	2回	2回	2回	100%

○指標を設定することができない場合の理由

--

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	・平成30年度から令和2年度にかけ、県内全地域でモデル授業を行い、ホームページや研修会で外部講師を活用したがん教育の在り方について周知を図ることができた。
令和3年度	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%
令和4年度	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性（社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断） 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない 	
(評価) 3	がん教育は、がん対策推進基本計画等にも位置付けられ、学校での教育の充実を求められている。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない 	
(評価) 1	地域によって取り組み方が異なり、どの地域でも推進できるだけの状況には至っていない。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている 	
(評価) 2	地域医師会やがん経験者団体、市町村教育委員会等との連携がさらに必要である。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項 各地域でより多くの外部講師を確保していく必要がある。
--

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 各市町村教育委員会ではがん教育を推進していけるようにするために、県として体制づくりを継続して進めていく。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課 組み合わせる理由や期待する効果 など	
--	--